

### 令和2年度予算総額

(単位:千円、%)

	2年度 予算額	元年度 予算額	伸び率	
一般会計	69,086,000	66,346,000	4.1	
特別会計	国民健康保険事業	16,996,000	16,866,000	0.8
	後期高齢者医療	4,470,000	4,349,000	2.8
	介護保険事業	14,165,000	13,545,000	4.6
下水道事業会計	収益的収入	4,351,161	4,349,509	0.0
	収益的支出	3,945,534	3,974,112	△0.7
	資本的収入	1,097,441	1,199,692	△8.5
	資本的支出	1,797,308	2,116,847	△15.1

### 令和2年度 一般会計予算。 各特別会計予算。 下水道事業会計予算

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計、特別会計及び下水道事業会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月16日から17日までの2日間、特別会計及び下水道事業会計は3月18日に審査が行われました。定例会最終日には、小野高一一般会計予算特別委員長と虻川浩特別会計・下水道事業会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計、国民健康保険事業特別会計及び後期高齢者医療特別会計を賛成多数で、介護保険事業特別会計及び下水道事業会計を全会一致で可決しました。

【後期高齢者医療特別会計】  
予算総額は44億7千万円で、前年度当初予算に比べ2.8%、1億2千万円の増となっています。  
【歳入】法人市民税が9億1千2百万円の減となる一方、地方消費税交付金は7億6千万円の増を見込んでいます。また、普通交付税は1億1千万円の増を見込んでいます。  
【歳出】民間保育園の運営費の増等により扶助費が増加しているほか、花小金井南中学校地域開放型体育館新築工事等により、普通建設事業が増加しています。  
【国民健康保険事業特別会計】  
予算総額は69億9千6百万円で、前年度当初予算に比べ0.8%、1億3千万円の増となっています。

【一般会計】  
予算総額は69億8千6百万円で、前年度当初予算に比べ4.1%、27億4千万円の増と見込んでいます。  
【歳入】保険料は前年度に比べ3.0%、約1億2億48万円の増で計上しています。一般会計繰入金を22億3千万円、国民健康保険事業運営基金から2千2百万円を繰り入れ収支の均衡を図ります。  
【歳出】予算総額の6割強を占める保険給付費は、前年度に比べ1億円の増で計上しています。

【後期高齢者医療】  
後期高齢者医療の被保険者数は、前年度に比べ700人増の2万3千6百人を見込んでいます。  
【介護保険事業特別会計】  
予算総額は64億6千5百万円で、前年度当初予算に比べ4.6%、6億2千万円の増となっています。

【歳入】保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、一般会計繰入金等を計上しました。  
【歳出】保険給付費は4.7%、約5億7千2百万円の増を見込んでいます。  
要支援要介護認定者数は、前年度に比べ2.8%増の9千2百51人を見込んでいます。

【収益的収入及び支出】  
収益的収入は43億5千16万1千円で、前年度に比べ65万2千円の増となっています。収益的支出は39億4千5百53万4千円で、前年度に比べ0.7%、2千8百57万8千円の減となっています。  
【資本的収入及び支出】  
資本的収入は10億9千7百44万1千円で、前年度に比べ8.5%、1億2百25万1千円の減となっています。資本的支出は17億9千7百30万8千円で、前年度に比べ15.1%、3億1千9百53万9千円の減となっています。

### 一般会計予算に対する 各会派の討論(要旨)

#### 政和会 反対

創意と工夫による積極的なまちづくりの姿勢等が一切認められない

反対の理由を以下に述べる。  
①ふるさと納税による赤字に対して、財源を確保してきたいとの思いが感じられない。  
②動く市役所は多様なニーズに答えられない。  
③サービス向上の質の向上を強く要望する。  
④まちづくり事業は例年どおりの予算執行ではなく、ソフト面の充実を図る必要があった。  
⑤財産活用について、武蔵野公園は花小金井武道館を取り壊し公園にすることありきで説明も不十分である。団体の活動場所の確保等を強く要望する。  
⑥ICT教育が全国から見ても大きくおくれであることを受けとめない姿勢は誠に遺憾である。  
⑦小平市民文化会館の設備改修について、予算化を強く要望する。以上、反対討論とする。

#### 市議会公明党 賛成

会派として要望し続けた事業が一定数盛り込まれている

賛成の理由を以下に述べる。  
①健康都市を進めるプロジェクトチームは市内横断的に取り組む姿勢を確認できた。  
②オリンピック・パラリンピック関連基金は会派で提案した減額の意向に沿っている。  
③防犯カメラを整備する自治会への補助等は市民の声に応えた施策である。  
④部活動指導員配置拡充等は会派要望に合致する。なお、職員の適正配置は引き続き検討を要望する。  
学校体育館の冷暖房整備は前向きな検討を期待する。児童発達支援センターは教育と連携しワンストップ体制を目指してほしい。PFIでの学校給食センター更新事業を成功させてほしい。児童・生徒全員のタブレット端末配備を視野に事業構築を求め、以上を申し述べ賛成討論とする。

#### フォーラム小平 賛成

小平市がより魅力的な町となるための予算として編成されている

賛成の理由を以下に述べる。  
①こだいら人財の森事業は市民参加の大きな支援になる。  
②子育て世代包括支援センター開設など子育て支援の取り組みを評価する。なお、保育園増設による保育の質の低下を招かないこと等を要望する。  
③教育面は、タブレット端末の配備など喫緊の課題に対応できている。  
④高齢者福祉は、見守りサービスをふるさと納税の返礼品に追加することによる体制の充実等を評価する。なお、児童発達支援センター開設は、たいよう福祉センターの現在のサービスが縮小しないよう要望する。ソサエティ5.0にふさわしい仕組みづくりを進める中で迅速で確実な事務事業のためのさらなる研究を期待する。以上を申し述べ賛成討論とする。

#### 一人会派の会 反対

人口減少などの時代に向き合える取り組みがない

反対の理由を以下に述べる。  
①正規職員数が26市平均より少ないが、浮いた財源が有効にまちづくりに使われているか見えてこない。  
②市の建物等の民間貸し出しが適正価格で行われていないなど歳入をふやす具体策がない。  
③職員数の段階的引き上げを求める。  
④地域自治の推進は自治会を基本に展開するべきである。  
⑤市民営の学童保育への補助は疑問である。  
⑥市の障害者雇用は精神障害者も対象とすることを求める。  
⑦温室効果ガスは2050年に実質ゼロを目指すことを求める。そのほか、コミュニケーション以外の公共交通の検討や、教員の労働環境改善に取り組むことなどを求める。なお、会派内で賛成する議員がいることを申し添え反対討論とする。

#### 日本共産党小平市議団 賛成

保育園待機児対策、高齢者支援の取り組みなどを評価

賛成の理由を以下に述べる。  
①認可保育園1園の開園等を評価する。  
②学童クラブ増設を評価する。  
③定期巡回随時対応型訪問介護看護等の整備が盛り込まれている。  
④農業者の経営拡大のための農地化支援を評価する。  
⑤非核平和事業継続を評価する。  
⑥コミュニケーション・南西部地域の再実証実験運行の経費を計上している。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止等について国等に迅速な予算措置を要望してほしい。都市計画公園は計画段階からの市民参画徹底を求める。小川駅西口地区市街地再開発事業はきめ細かな説明会を求める。家庭ごみ指定収集袋の値下げを求める。学校体育館へのエアコン設置の検討を要望する。以上を申し述べ、賛成討論とする。

#### 生活者ネットワーク 賛成

支援が必要な事業にも注力する堅実な予算編成を評価

賛成の理由を以下に述べる。  
①産後ケア事業開始など切れ目のない子育て支援の拡充。  
②特別緑地保全用地の取得など緑地保全の推進。  
③農業者の経営規模拡大支援など会派で要望してきた農業者のサポートを行う姿勢。  
④参加と協働を根幹に据え町の課題等に取り組んでいく姿勢などを評価する。なお、必要な都市基盤を柔軟に見直すことなどについて要望等を行う。以上を申し述べ、賛成討論とする。

#### まちづくり市民こだいら 賛成

緑の施策で前進が見られる

賛成の理由を以下に述べる。  
①緑化基金が初めて特別緑地保全地区の買い取りに使われることをうれしく思う。  
②緑化基金から4千300万円を繰り入れ、緑化推進に使うことは大きな変化であり、積立額も平成30年度決算額の27倍と今までの最も高い額となっている。今後の緑地買い取りへの意欲が感じられる。  
③水が余り流れていない鈴木用水等に水を流す整備事業を評価する。なお、武蔵公園整備のための基本設計及び詳細設計の委託には強く抗議する。小川駅西口地区市街地再開発事業は、再開発組合に予算がどう使われるか情報提供を求める必要がある。小川西グラウンドの人工芝化は、環境等の面で天然芝のほうが望ましい。以上を申し述べ、賛成討論とする。

※小平市東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金